



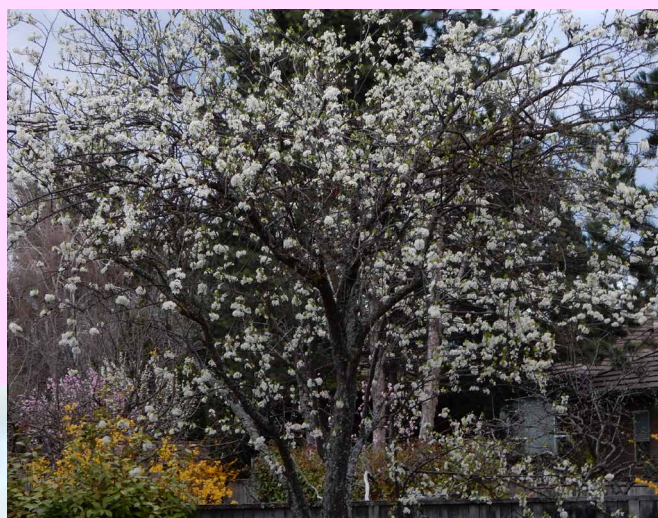
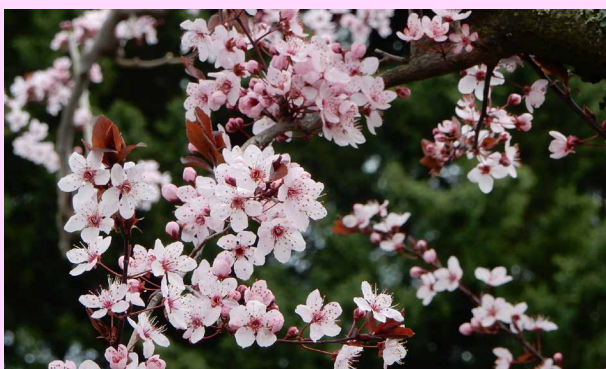
春



**JA3**

長居公園に春が！

JE3BEQ 撮影



**W7**

オレゴンに春が！

JA3USA 撮影



# 日本の端っこ巡り

JA3USA 島本 正敬

## 日本最北端

もう7年も前の2010年のこと、仕事で沖縄に出かけることがありました。その帰り道に読んだ機内誌に旭川から稚内へ向かう宗谷本線の車窓の写真が沢山掲載された記事がありました。ちょうどその直前にモスクワ、サンクトペテルブルグへ行っていたこともあり、日本の最北の地を見たくなり、家に戻るなり一週間後の旭川へのフライトの予約をしたのです。ですから、稚内や最北端が目的の旅ではなかったのです。ですから、到着した稚内では一泊だけの滞在でしたがレンタカーを利用して周辺をドライブして利尻富士を望みながらサロベツ原野に向かったり、オホーツク海側へも行って見ました。その途中、宗谷岬に偶然のように訪れたのです。樺太もお天気次第で見えるというだけあって、カーラジオでFMのスクリーンを見れば、何とロシア語の放送が数局聞こえるではありませんか。FMラジオで日本最北端に来たことを実感しました。

## 日本最東端

それから5年後の2015年に20数年ぶりに開催された北海道ハムフェアに行ってみようと、舞鶴からフェリーに車を積み一路小樽へ。そのハムフェア終了後に札幌から根室半島に向けて走行しようと計画しました。根室半島訪問は数年間望んでいたことだったので。時折14MHzでQSOするJA8EIAから「根室から国後島越しに知床半島が見える」と聞き、ずっと行ってみたいと機会を待っていました。札幌をお昼に出て釧路で一泊。翌朝、納沙布岬を目指して走り始めました。釧路を出た頃は曇り空でしたが、根室を通過する頃には青空が見え始め、納沙布岬に到着した頃には空は晴れ上がり絶好の天候となりました。納沙布岬からは歯舞の島々は目と鼻の先、遠くに国後島の山々がはっきりと確認できるのにその後ろには約80kmもありますから、見えることの方が珍しいでしょう。ですから、見えなくても仕方がないかと諦めていたら、国後島がもっとはっきり見えるようになり、良く見るとその後ろに知床半島の山々がうっすらと見えるではありませんか。日本からロシア越しに日本が見える！感激でした。

納沙布岬は日本最東端ではなく、本当の最東端はJD1/M

南島島です。でも、一般人が行ける場所ではありませんので、納沙布岬を勝手に日本最東端としました。

## 日本最南端

納沙布から戻り、最北端と最東端に行ったことに気が付きました。それならと2ヶ月後の11月に日本最南端の波照間島に行ってみることにしました。開空から石垣島に到着するとすぐに竹富島に船で渡りました。何度か無線で話したJS6LIH 上間さんと会うためです。波照間に行く話をすると、波照間への船は少し波が高くなると欠航すること。でも、翌日は予定通りの出港で無事波照間に渡ることができました。確かに大きくない高速船ですから、波がそれほど高くないのに時折船底で波をたたくの音を聞いて、少し波が高くなると欠航するというのに納得しました。到着した波照間の港と日本最南端の場所は島のほぼ反対側。11月というのに未だ暑い中をレンタル自転車で走るのはとても過酷。結局島を一周することになりましたが、何度も何度も休み休みのサイクリングでした。

## 日本最西端

最後に残ったのは日本最西端の与那国島。2016年4月に計画をしたのですが、諸事情でキャンセル不可の航空券を無駄に。そして7月に再挑戦。出発の前日に与那国の港でのピックアップを依頼しようと現地のホテルに電話をしたのですが、するとその日は船のドック入りのため欠航だとの返事に大慌て。船会社のWEBを見たときには、そんな話はなかったし予約もなしで当日石垣の港に来いとあったので、欠航なんて夢にも考えていませんでした。大慌てで飛行機やホテルもキャンセル開始。理由を言うとどれも手数料等を払うこともなしで取り消せたのは不幸中の幸い。ということで、やっと実現したの

は今年の2月。ゲロ船として名高い船で石垣から4時間。観光シーズンのオフということもあって、がらんとした新しい船で快適な船旅。酔って困っている人もいましたが、ヨットで鍛えた僕には全く問題なく、携帯電話に現在位置を表示をさせて途中の島々を見て楽しみ、西表島を過ぎて見るものが高くなると船の周りを見れば鳥を見て楽しんでいけば、あっという間に4時間の旅も終了。いよいよ与那国の港を前にして船の行く手を見ると、港は狭く入り込んだ場所の内側。波も風もある中、ちょっと不安を感じながら見ていると。さすがプロ。巧みに狭い海路を進み、サイドスラスターを使って横滑りで船を着岸させるのはショーのようでした。その港のすぐ近くの丘の上に日本最西端の展望台が見えます。バスもタクシーもないので徒歩での予定でしたが、風を伴った雨という最悪の天気の上、傘もなし。どうしよう困っていたら、与那国の自衛隊基地へ石垣から医療廃棄物を取りに来たという人が、廃棄物処理用の軽トラがあるので、良かったら使っていよ、と親切な申し出をしてくれました。早速お借りしてというものの、軽トラを運転したこともなければ、何十年ぶりかのシフト。でも、この島にいられるのも翌朝の10時の出港まで。えいやーと運転してみたら、結構うまく走ったので丘の上の日本最西端へ向かいました。幸いにも最西端の駐車場に着いた頃には風は強く吹いているものの雨は休憩。丘の上には展望台と日本最西端の碑。碑の後ろには、そこからいくつかの都市までの距離が記されていました。東京まで2,112km、マニラまでは1,124km。東京まではマニラの約2倍の距離。台湾は111kmとあり、石垣島より近いんです。ロシア語のFM放送が聞こえる宗谷岬から、台湾のFM放送が聞こえる与那国まで、日本も思ったより大きいなあ。

## Newsletter

<http://j13zag.net/html/nl.html>

会報を自由にダウンロードすることができます

Web: <http://j13zag.net/>

## Rollcall

Every Saturday 00:00UTC @21.370MHz

## 毎月のミーティング

at International House Osaka

毎月第2金曜日